

2. 礼拝とは何か

(1)一般的な意味での「礼拝」

普通、キリスト教会において「礼拝」とは、毎週日曜日にもたれるクリスチャンの集まりのことを意味する。カトリック教会では賛美歌と聖餐を中心に、プロテスタント教会では、説教を中心に行なわれる。しかし、初代教会では、「週の初めの日に、私たちはパンを裂くために集まった」（使徒 20:7）。すなわち、「パン裂き」が主たる目的であったことがわかる。

(2)「礼拝」の意味

「礼拝」と訳された聖書の用語は多様である。ヘブル語、ギリシア語ともに、複数の単語があり、本質をまとめると次の3つである。

- ①あがめる ②感謝する ③恐れかしこむ

《要点》 礼拝は、受ける(主⇒私たち)ためではなく、捧げる(私たち⇒主)ための時である

3. 「礼拝」と「パン裂き」

(1)「礼拝」と「パン裂き」の関係

上記の礼拝の意味からも分るように、礼拝は、私たちから主へささげることが中心である。それに対し、パン裂きの目的は、前頁にあったように、主を覚えることと新しい契約を確認することである。したがって、礼拝とパン裂きを別の集会として行なうことも可能である。しかし、多くの初代教会が、「週の初めの日」にパン裂きをしたことから分るように、礼拝とパン裂きは密接な関係がある。

(2)「霊と真理(まこと)による礼拝」と「パン裂き」

私たちは、どんなときに最も「霊と真理とを持って」（ヨハネ 4:23）、「あがめ、感謝し、恐れかしこむ」ことができるか？ どんなときに最も主の栄光を仰ぐことができるか？ 主イエスの生涯と贖いの御業を覚えるときである。私たちは、パン裂きを通して主と主のみわざを覚え、恵みの契約を覚えるときに、そこから生まれる感謝と賛美が、霊と真理による捧げものになるのである。（ヨハネ 16:13,14 ピリピ 3:3 エペソ 1:13 ヘブル 9:14）

【前橋キリスト集会としての適用】

以上(1),(2)から、前橋キリスト集会では、「パン裂き礼拝」として、前半をパン裂きを中心に、後半を自由に感謝と賛美を捧げる礼拝を中心にプログラムが構成されている

(3)日曜日の集会プログラム

初代教会は、パン裂き礼拝と共に、聖書からの教えや献金をしていた（1 テモテ 4:13 1 コリント 16:1,2）。また、食事をともにして交わり、福音を宣べ伝えた（1 コリント 11:21 使徒 18:5）

前橋キリスト集会・日曜日のプログラム